

<b>伊佐市立中学校再編成市民説明会（羽月・羽月北小校区）</b>	
日 時	平成23年10月25日（火） 午後7時00分～午後8時30分まで
場 所	羽月小体育館
出席者	市長・副市長・教育長・総務課長・企画調整課長・財政課長・建設課長・学校教育課長・事務局（6人） 参加者 69人
<p>○ 本日は合併をする前提の会なのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 再編成方針を説明する会である。</li> </ul> <p>○ 羽月小ではまだ一度もこのことについて全体会やアンケートはとられていないのに合併は決定なのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本来教育行政は、市が方針を持って責任ある教育をどうするかということを決めていくこととなります。市民全員にアンケートを採ったりしてその多数により決めていくものではない。義務教育は行政の責任として市がおこなっていかなければならない。最終的には議会に諮って決定される。各校区に説明がないということについては、PTA 代表やコミュニティ代表等の協議会の中で校区の意見を吸い上げて協議していただき、その意見等を尊重して修正し方針を出したものを今日皆様に説明に上がっております。そのようなことで市民の皆様には市の方針は伝わっているものと理解しております。</li> </ul> <p>○ 在校生の制服はどうなるのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 協議会の中で制服については要望が出されております。今回の再編成は3校が対等な立場で一つの中学校に再編するというものであります。そのような意味から現時点では在校生について制服は混在を考えております。また、県下の他の市町村の統合等でも制服等は混在させていること、また、物を大切にする教育的な観点からということもあります。制服を統一するか混在させるかについては来年度からの準備委員会で検討していきます。</li> </ul> <p>○ 25年度から制服を変えとかして、中学生は多感な時期ですので制服一つでトラブルなりかねないと思うので考えていただきたい。経済的にも購入は出来ないと思いますので考えていただきたい。</p> <p>○ 再編して一つの中学校になった時、それぞれの中学校で関わった先生が引き続き再編成後の学校に行っていただけなのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 伊佐市内の中学校の先生の数は減るが、今いる山野中・大口南中・大口中の先生が新しい中学校に異動していただくということもある。3校の生徒が安心して中学校生活をスタートできる先生方の体制というものを教育委員会としても考えていく。</li> </ul>	

- 大口南中学校は6割が反対、4割が賛成という意見でありましたので、基本的には再編成には納得していない。3年生という多感な時期に再編される生徒にとっては負担となるので、今まで相談していた先生方が新しい中学校に行っていただけるのかこれは素直な意見だと思います。生徒が減っていくことについて市として企業誘致なりしていただき、ここの若い人たちが残っているような状態だとこのような再編成ということにならなかったと思います。もう少し活気ある市政づくりというのが示していただきたいと、再編成しても安心して預けられる学校づくり、そしてそこに信頼できる先生が欲しいと思います。他の学校の今の中学校の現状を聞いています。非常に残念な内容も聞いている。ですので、再編成が決まりましたからこれでご理解くださいというのは納得のいかないところでもある。不安を取り除くように説明会等を何回でも開いていただき、理解を得てすすめていただきたい。
- ・ 教育長として今言われたことに対してよくわかります。南中学校の良さについては十分な理解している。ただ、平成27年度生徒が少なくなりそれにより先生方が少なくなるそのような状態の中で今のこの南中学校の良さを伝えていけるのかと、むしろこの大口南中校区のすばらしさこの資質をさらに高めるためにはやはりより多くの生徒たちと切磋琢磨しながら成長させていくのが望ましいのではないかと考えてこのような計画としております。先ほどから意見がありますように子どもたちは多感な時期であります。教育委員会としては新しい中学校は、本当に今の教育よりもさらに質の高い教育をしなければ再編成する意味は無いと思っている。今の3中学校の良さが合わさって（仮称）大口中央中学校は本当にすばらしい学校だと思えるような学校を作っていかなければならないと考えております。
- 協議会で制服や先生等の異動について要望書を出している。その中で平成27年の再編成時にいじめ等の対象になることも考えられるので制服をそろえるという要望も出しておりますので検討していただきたい。それと制服等を決める時には生徒のアンケート等も取っていただきたいということも入っておりますのでよろしくお願ひしたい。それと、今大口南中は1年生の受け持ちの先生が3年間担任等として関わって行く。子どもたちの変化に気づく体制になっている。再編成時にそのときの担任の先生等が新しい中学校に赴任していただくことが出来れば生徒の不安が和らぐと思いますのでご検討していただきたい。それと合わせて特別支援を受けている生徒についても環境の変化に対するメンタル面は非常に微妙なところですので考えていただきたい。
- ・ 要望については20項目ほどいただいております。今後準備委員会等でも検討していきたいと思っております。
- 小学校5年生・4年生の子どもたちが再編成になった時に中学校の2年生3年生になる。うまく馴染めるか心配している。当初山野中は24年度からの再編、また、針持・曾木小校区は菱刈中という計画を聞いていた。それがどうしてこのような計画になったのか、反対者が多いから変わったのかなど、自分の子どもが5年生にいるので自分としてはそのまま南中で卒業させてやりたい。それも出来ないと言われたので前向きには考えないといけませんが、今

後の伊佐市にとって子どもを育てやすい環境になっていかないように思う。将来今の子どもたちが親になったときに学校の近くに住むようになると益々僻地かが進んでいくのではないかと心配している。どうしても避けられない再編成だとしても高校再編みたいはその学校で卒業させる体制が出来ないか。

- ・ 子どもを持っていらっしゃる保護者の方々は心配されるのは当然だと思います。出来るだけそのような心配がないように、再編成までのスケジュールの中で平成 25 年 26 年に交流学习等でお互い交流できるような仕組みを作って不安を解消して参ります。

協議会に示した実施計画案は曾木・針持小校区は通学距離等から菱刈中に行く計画案であったが協議会の中で大口南中の保護者の理解が得られないということで協議会の意見を尊重してこのような計画としております。

- 羽月小では反対意見も賛成意見も言うことが出来なかった。なぜ、このような計画を決定する前にこのような場が設けられなかったのか。

- ・ 子どもの義務教育に関しての責任は教育行政にあります。施設を揃える、人材を揃えるというそこからこの義務教育はありますので、十分な先生を確保できないということが生徒数から明確になってきております。そういうことから将来を見据えた計画を作成する必要があり PTA 等の代表者にお示しし修正するとことは修正して、ご提案しているところでございます。

- このような話し合いを 1 回でも持てなかったのかという質問ですが。

- ・ 今回のことについては持てなかったということになるかと思えます。

- 当事者に前もって話をしていただきたかったです。こんな決まっているなんて思っていなかった。

- 平成 25 年・26 年に交流学习があります。実際このような時間が持てるのか学校の教頭先生・校長先生にお聞きしたい。

- ・ (羽月小教頭) 現在羽月北小・羽月西小と交流学习をおこなっている。教育課程で調整する場可能だと思います。

先ほどの件で補足させてください。小学校だけでなく中学校でも交流学习を進めていかなければならないと考えている。来年度準備期間でありますので 9 月ぐらいから次の年の教育課程をどこの学校にも編成を計画いただいている。その中で生徒会の交流や部活動、また、文化交流、合同の職場体験学習等できる範囲でお願いしていくことになります。

- 教員数が 21 名これは決められた数ですので増やすことは出来ないと思いますが、市として子どもたちの相談に乗るような心のケアをするような方を配置する計画はないのか

- ・ 伊佐市は現在各学校にスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、市にいる教育相談員、特別支援教育支援員等と連携して心のケアをやっていく。数を増やせるかどうかは今後検討していく。

心のケアについてはこのような再編成時には特別な配慮が一時的には必要かと思えます。子

育て全般に関するメンタル面の相談については数年前からスマイル等を中心に子育て支援を行っている。来年度から仮称トータルサポートセンターで幼児から高校生までの相談にのるような体制をNPOで仕組みを考えている。厚生部門と文科省部門を連携して相談に乗る体制を構築していくを考えている。再編成時にはこの部門でのサポートも出来ると思います。

- 学校に常駐できるような方がサポートするということを考えるが。
  - ・ 仕組みを説明しました。実際相談は個人的な部分が多い。各学校のきずきは先ほど学校教育課長が説明したように年度的にはある程度目が届くようにしたいと思います。そこからどのように支援していくかだと思いますのでそれを適切にサポートできるような仕組みづくりをしていくということであります。
  
- 現在の小学校5年生が27年度に中学校3年生になる。27年度に3年生になる生徒をそのまま大口中で卒業させることは出来ないか。高校再編はそういうことになっているがどうか。
  - ・ お気持ちは良くわかります。ただ、1学年1学級となるとそこに配置される先生は数人になります。そうなりますとその先生方で全部の教科を教えなければならないということになります。また、野球以外のふれあいや学校の行事等にも支障が出てきます。そういうことですのでやはり再編成を一斉にするのが生徒にとって良いと思います。
  
- 現在各中学校は教育方針が違うところもあると思います。中学校3年の受験時期にさしかかる生徒にとってその時点で一斉再編成となると混乱するのではないかと心配しています。その学習面の支援体制をどのように考えているのか。
  - ・ 来年度から出来る準備委員会の中で、山野中・大口中・大口中ほぼ歩調をそろえた形で学習が出来るように、また、一緒になったときにずれが出ないように準備を話し合ってもらって計画を作っていく。

再編成の前年度から教務主任等に集まってもらって教育課程等について話し合ってもらうとか教材をそろえるとか副教材とか細かいところまで来年1年間かけて準備をしていく。

以上